

第 5 回

～洋書絵本の専門店が贈る～

『のんびり洋書めぐり』



Ehon House

(株)岩崎書店 絵本の家事業部 英語教育担当

館野佐知子



■ イギリス アズボーン社

ロングセラーの絵本が多い中で、英国アズボーン社の絵本は見るたびにひと味違うと思う。身の回りの世界への興味と関心を子ども達が楽しく広げられるようにと、教育的な要素が盛り込まれた絵本が多く、色が鮮やかでちょっと新しい感じのするイラストが魅力である。直営店でもたくさん子ども達が楽しそうに手に取る。私もアズボーン社の絵本は大好きで図書館向けのカタログでも必ず数冊は取り上げている。(写真①)

絵本の家がアズボーン社の商品の取り扱いを始めたのは、今からおおよそ 14 年くらい前の事だそうで、仕入れの担当だったスタッフに話を聞いてみた。当時まだ日本に取引先の無かったアズボーン社は、積極的に取引先を探していて、絵本の家にも商談に来



気球のマークが目印

たそうだ。英語学習教材の必要性を感じていた絵本の家でも、レベル別に単語や文章量がきっちり決まっていて、少しずつレベルアップしながら多読を進めることが出来るアズボーン社の絵本はとても新鮮に映ったという。

アズボーン社は家族経営の出版社で、一家の父であるピーター・アズボーンが 1973 年に創業し児童書を専門としている。ホームページによると、『あらゆる年齢、民族、性別の子供たちのための素晴らしい本を作成すること』を目標に掲げている。確かに、子どもが日々の生活の中で疑問に思うような事柄を、子どもと同じ目線で考え、ワクワクしながら本づくりをしている事がとてもよく分かる出版物ばかりだ。様々な受賞歴もあり名門の出版社と言えるだろう。小さな子ども向けのボードブックや、塗り絵や迷路といった遊び絵本の他にパズルなどもある。また、地理、環境、歴史、数学、メンタルヘルスといった人気のトピックで、楽しみながら本格的な内容に触れることができる本づくりも注目



写真①: 楽しく遊びながら英語を学ぼう!



写真②: 地図と国旗のパズルは大人気

されるところだ。(写真②)

■ 昔話がベース。読みやすい英語学習者向けリーダー

このように様々な種類の児童向け書籍があるアズボーン社だが、その中に、ELT (English Language Teaching) という、英語を母国語とせず、第二言語またはその他の言語として学習をする子どものためのカテゴリがある。小学校で英語の教科化が始まり、「子ども向けにおすすめのリーダーはありますか？」というお問い合わせがとて多くなった中、このカテゴリで紹介されているリーダーは、ますます必要性の高い商品群となっている。

これまで主に取り扱ってきたのは、イギリス英語とアメリカ英語の両方の朗読を吹き込んだ CD とハードカバーの絵本をセットにした、『英語学習者版 (English Learner's Edition)』と名付けられているリーダーのシリーズだ。単語数、ボキャブラリーの範囲、一行の長さ、文法の難易度、ページ数に配慮があり、子ども達によく知られたイソップ寓話やグリム、アンデルセン、ペローといった有名な昔話や童話をベースにしながらも、ウィットに富んだ展開と現代のコミック的な雰囲気のあるイラストの面白さが読み手を飽きさせない。親と子、先生と生徒といった異なる世代と一緒に楽しめることも人気の秘密で、「いまだ昔話なんて子どもには退屈なのでは？」という心配がいら

■ 新しいリーダーが仲間入り！

そんなアズボーン社のリーダーに、新たに CEFR (セ

ファール：ヨーロッパ言語共通参照枠) のレベルが付いた英語学習者のための商品が加わった事はすごくうれしいニュースだった。CEFR に関する問い合わせも増えてきて、レベルわけの目安として注目していたからだ。ヨーロッパ生まれの CEFR は、外国語を運用する能力がどのくらいあるか？という事を、言葉の種類(ドイツ語、フランス語、英語などなど)に関係なく測るための枠組みだ。

CEFR について、あまり詳しくは知らないという方も多いだろう。実は私もその一人だったが、インターネットを検索してみると、文部科学省が作成した「各資格・検定試験と CEFR の対照表」というのを見つける事が出来た。英検と比較してみるとのが一番分かりやすかったので、対照表を参考にこのリーダーのレベルを見てみよう。黄色の表紙の "CEFR LowA1" は語彙レベル 300 で、英検 3 級に届かないレベルと考えられる。水色の表紙の "CEFR A1" は語彙レベル 500 で、英検 3 級程度。緑色の表紙の "CEFR A2" は、語彙レベル 800 で、英検準 2 級といったところが妥当ではないかと思う。小学校高学年くらいからこのリーダーを使う事が出来れば、英語力もかなり伸びるのではないだろうか？レベルは高めでも、使用する単語数や文法をレベルごとに制限してあり、英語学習者には読みやすいので、ぜひ挑戦して欲しい。(写真⑤)

新しいリーダーの特長を簡単にまとめよう。『自然な英語で書かれていて、全体に美しいフルカラーのイラストで構成』、『QR コードを読み込むとイギリス英語

とアメリカ英語両方の朗読が楽しめる』、『物語の後ろにアクティビティ (お話の理解を深め、英語力を高めるような内容の簡単なテスト) や単語リストが付いている』などが挙げられる。英語学習者向けのしっかりとした設計だ。

■ 本を読むのは楽しい! 英語でもそれが一番大切

それでは、CEFR Low A1 (A1 レベルの下位) の一番やさしいリーダーの中から、有名な昔話、“The Three Billy Goats (三匹のヤギのがらがらどん)”を実際に読んでみよう! まずは表紙をじっくりと。今まさに橋の上を渡っているのは、立派な角が生えた大きなヤギ。ちょっとユーモラスな風貌のトロルが橋の下から怖い顔で覗いている。橋の向こう側にいるのは小さいヤギと中くらいのヤギと、この絵本の一番の見どころが今まさに繰り広げられているイラストだ。こうしてみると、お話を知っている安心感というのは大きいと思う。英語で読むという緊張感が減って、本を開くのが楽しみにになっているからだ。

この本の物語部分で使われている単語の数は 545 語あるので、1 ページ平均で 41 語。このレベルの本の文章は現在形で書かれていて、一つの文は 7 語ほどの単語で出来ているのですっきりと読みやすい。アズボーン社のリーダーの特徴である吹き出しを使ったコミックの様な雰囲気のあるイラストが、英語での読書でも物語を理解する手助けをしてくれて、楽しさを与えてくれる。少しくらい分からない部分があっても、これなら絵を追って気軽に読み進めていけるだろう。

■ 英語学習の効果を上げるアクティビティと音源

さすがに英語学習者向けと銘を打つだけあるなと感心するのが、本の後半部分、アクティビティ (Activities)。(写真⑥) 例えば、物語の一場面を表した絵がある。その絵の中に無いものを、単語リストから探すというクイズ。リストの単語の意味が分からないと解けないので、英語の力を必要としつつも、ついつい夢中になってしまう探し絵クイズでとても楽しい。文章の穴埋めをしたり絵とセリフを合わせたり、その他 5 種類のクイズがある。このリーダーを使って英語を教える場合に、これらの簡単なクイズはとても便利で、内容をよりよく理解するのに効果的な使い方が出来そうだ。

さて、最後は QR コードを読み取って朗読を聞いてみよう。ページめくり音が付いており、イラストを見ながら聞いてみると、黙読するのとはまた違った楽しさがある。「文字を追いつつ朗読を聞く」、「朗読と一緒に自分でも声を出して読んでみる」など、音源の使い道は色々だ。最後に本を閉じて、朗読の声に耳を澄ます。頭の中で、お話が生き生きとイメージ化される。ああ、たっばり一冊楽しむことが出来た。さて次は、どのお話を読んでみようか? 次のレベルへ慌てて進もうとはせず、好きなお話を選びながら、同じレベル内の絵本を何冊か読んでみるといいだろう。きっと、英語で読むことに慣れてきて、英語読書が楽しくなるに違いない!



写真③: 英語学習者版はカラフルな背表紙でレベル分け



写真④: 音源 CD にはイギリス英語とアメリカ英語を収録



写真⑤: 新リーダーは表紙の色分けで CEFR レベルがわかる



写真⑥: 『三匹のヤギのがらがらどん』のアクティビティページ

